

第30回ソフトバレーボール小学生大会 静岡県大会 出場チーム

◆ 東部地区

地区予選順位	チーム名	在籍地
1	佐野バレーボールスポーツ少年団男子A	三島市
2	佐野バレーボールスポーツ少年団男子B	三島市
3	向山バレーボールスポーツ少年団	三島市
4	佐野バレーボールスポーツ少年団女子	三島市

◆ 中部地区

地区予選順位	チーム名	在籍地
1	六合ジュニアバレーボールクラブ	島田市
2	大洲バレーボールスポーツ少年団	藤枝市
3	大井川東バレーボールスポーツ少年団	焼津市
4	清水バレーボールジュニア	静岡市

◆ 西部地区

地区予選順位	チーム名	在籍地
1	黒潮キッズバレーボールスポーツ少年団	御前崎市
2	袋井西ジュニアバレーボールクラブ	袋井市
3	袋井北ジュニアバレーボールクラブ	袋井市
4	桜木バレーボールスポーツ少年団	掛川市

第30回 ソフトバレーボール小学生大会 静岡県大会

日時:平成30年8月18(土)

会場:島田市ローズアリーナ

予選グループA (Aコート)

東部1位 (三島市)	-	西部3位 (袋井市)
佐野男子A	-	袋井北
	A-3	
	A-5	A-6
A-1	-	-
-	-	-
-	-	-
	A-2	
	-	
	-	
	-	
佐野女子	A-4	大洲
東部4位 (三島市)	-	中部2位 (藤枝市)

予選グループB (Bコート)

中部1位 (島田市)	-	東部3位 (三島市)
六合	-	向山
	B-3	
	B-5	B-6
B-1	-	-
-	-	-
-	-	-
	B-2	
	-	
	-	
	-	
清水	B-4	袋井西
中部4位 (静岡市)	-	西部2位 (袋井市)

予選グループC (Cコート)

西部1位 (袋井市)	-	中部3位 (焼津市)
黒潮キッズ	-	大井川東
	C-3	
	C-5	C-6
C-1	-	-
-	-	-
-	-	-
	C-2	
	-	
	-	
	-	
桜木	C-4	佐野男子B
西部4位 (掛川市)	-	東部2位 (三島市)

第30回ソフトバレーボール小学生大会 静岡県大会 審判割当表

◆ 予選リーグ

Aコート(予選グループA)

【短笛】

試合番号	対戦カード		主審&線審	副審&記録・点示
A-1	佐野男子A	VS 佐野女子	大洲	袋井北
A-2	袋井北	VS 大洲	佐野男子A	佐野女子
A-3	佐野男子A	VS 袋井北	佐野女子	大洲
A-4	佐野女子	VS 大洲	袋井北	佐野男子A
A-5	佐野男子A	VS 大洲	佐野女子	袋井北
A-6	佐野女子	VS 袋井北	佐野男子A	大洲

Bコート(予選グループB)

【長笛】

試合番号	対戦カード		主審&線審	副審&記録・点示
B-1	六合	VS 清水	袋井西	向山
B-2	向山	VS 袋井西	六合	清水
B-3	六合	VS 向山	清水	袋井西
B-4	清水	VS 袋井西	向山	六合
B-5	六合	VS 袋井西	清水	向山
B-6	向山	VS 清水	六合	袋井西

Cコート(予選グループC)

【短笛】

試合番号	対戦カード		主審&線審	副審&記録・点示
C-1	黒潮キッズ	VS 桜木	佐野男子B	大井川東
C-2	大井川東	VS 佐野男子B	黒潮キッズ	桜木
C-3	黒潮キッズ	VS 大井川東	桜木	佐野男子B
C-4	桜木	VS 佐野男子B	大井川東	黒潮キッズ
C-5	黒潮キッズ	VS 佐野男子B	桜木	大井川東
C-6	桜木	VS 大井川東	黒潮キッズ	佐野男子B

◆ 決勝リーグ

Aコート【長笛】

主審・副審: 大会役員	線審・記録・点示: 空きチーム
-------------	-----------------

※ 審判担当チーム

- ・予選 主審&線審 担当: 主審(大人)1名、線審(子供可)4名
- ・予選 副審&記録・点示 担当: 副審(大人)1名、記録・点示(子供可)各2名ずつ 計4名
- ・決勝 線審(子供可)4名、記録・点示(子供可)各2名ずつ 計8名 ※人数の足りないチームは対応します

※ 試合前にネットを使った個別の練習は行わず、両チーム合同の練習のみとします。

※ 第1試合の開始は本部で号令をかけ、全コート第1サービス許可の吹笛を合わせます。

※ 予選第2・第4・第6試合の開始は前試合終了後10分、予選第3・第5試合の開始及び決勝リーグの試合間は前試合終了後15分(最初の5分間は休憩とし、その間のボールの使用は不可)とします。

第30回ソフトバレーボール小学生大会 静岡県大会で適用する主なルール (いつものバレーボールと異なる点について)

ルール適用区分	適用項目	ルール内容
1. 施設・用具	コート	・コート大きさは、13.4m×6.1m。(バトミントンのコートと同じ大きさ)
	ネット	・ネットの高さは1.8m。
	ボール	・ボールはビニール製で、 重さは100g 、円周は78±1cm。
2. 試合進行	チームの構成	・チームは監督、マネージャーが各1人、チームキャプテンを含む競技者4人、4人以内の交代競技者で構成される。 ・競技はすべて4人で行われるが、競技者、交代競技者は、4年生以下であれば男女混合でも差し支えない。 ・ 監督及び大人のマネージャーは、本年度の指導者名簿に記載されていない育成会会員であること。
	競技者交代	・競技者交代は、各セット4回(4人)以内。
	試合の勝敗	・1セット15点(最大17点で打切り)の3セットマッチで勝敗を決める。ただし、大会要項等で指定がある場合には、それに従って勝敗を決める。
	ショート・サービス・ゾーンからのサービス	・センターラインから1.98m後方からの『ショート・サービス・ゾーン』からサービスを行うができる。 ただし、その場合はアンダー・ハンドによるサービスでなければならない。
	サービスの実行	・サービスの際、ボールをトスせず、片方の手のひらにボールを乗せたままヒットしてもよい。 ・サービスを行う時、トスしたボールが体に触れずに床に落ちた場合、1回だけ打直しができる。
	サービスの失敗	・サービスされたボールはネット、アンテナ、支柱に触れてはいけぬ。(サービス・フォルト)
	競技者のネットやアンテナへの接触	・プレー中、競技者はネットやアンテナに触れてはいけぬ。(タッチ・ネット)
3. プレー上の反則	競技者の相手コートへの接触	・競技者はセンターラインを完全に越えて、相手コートに触れてはいけぬ。(パッシング・ザ・センター・ライン)
アンテナへのボール接触	・ボールがアンテナのみに触れたらボール・アウト。ボールがアンテナとネットに同時触れた時は、サービスされたボールを除き、その後のプレーを続けることができる。	
支柱へのボール接触	・ボールが支柱とコート面に同時に触れたらボール・アウト。ボールが支柱のみに触れた時は、サービスされたボールを除き、その後のプレーを続けることができる。	
アタック・ヒットの反則 ブロックの反則	・サービスされたボールを、ネット上端より高い位置から相手コートに打ち返したり、ブロックしてはいけぬ。 (アタック・ヒットの反則)(ブロックの反則)	
ブロック時のオーバー・ネット	・ブロックをした時、ネットを越えて相手コート上でボールに触れてはいけぬ。 (オーバー・ネット)	

★太字下線部は、本大会のみに適用される特別規則です。

※上記以外については、いつものバレーボールのルールとほぼ同じです。